

- 問1 鎌倉時代に運慶や快慶らによって制作され、東大寺南大門に安置されている、筋肉の盛り上がりなど力強い写実的な表現が特徴の仏像は何ですか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. 阿弥陀如来像 2. 弥勒菩薩像 3. 釈迦三尊像 4. 金剛力士像
- 問2 日本の対外関係をまとめた歴史的事項において、13世紀後半の鎌倉時代に、モンゴル帝国（元）のフビライ・ハンによる服属要求を一貫して拒絶し、二度にわたる元軍の襲来（元寇）に対して防衛を指揮した鎌倉幕府の執権は誰ですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. 北条時宗 2. 北条高時 3. 北条泰時 4. 足利尊氏
- 問3 鎌倉時代の対外関係についてまとめられた資料によると、13世紀に大陸で勢力を広げたモンゴル帝国は、国号を「元」と改め、日本を含む周辺諸国に従属を求めました。この時の元の皇帝であり、二度にわたる日本への襲来を主導した人物は誰ですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. フビライ＝ハン 2. 北条時宗 3. 足利尊氏 4. チンギス＝ハン
- 問4 1185年に平氏を滅ぼしたのち、鎌倉を拠点として日本初となる本格的な武家政治の仕組みを整えた人物は誰ですか。1192年に朝廷から征夷大将軍に任命された人物を答えなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 足利尊氏 2. 徳川家康 3. 平清盛 4. 源頼朝
- 問5 1232年、鎌倉幕府の3代執権である北条泰時が、武士社会の慣習をもとにして定めた、武士のための最初の体系的な法典を何といいますか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
1. 御成敗式目（貞永式目） 2. 公事方御定書 3. 建武式目 4. 武家諸法度
- 問6 12世紀後半、日宋貿易によって中国との交流が盛んになる中で、僧の栄西が宋から伝えた仏教の一派があります。幕府の保護を受けて武士層を中心に広まり、座禅などの修行を重視したこの宗派の名称として適切なものを選んでください。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 時宗 2. 浄土宗 3. 浄土真宗 4. 臨済宗
- 問7 1185年、源頼朝が朝廷から設置の許可を得て、全国の支配を強めるために置いた役職について、その配置場所と役割の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 藩ごとに置かれた守護が年貢の徴収を担い、村ごとに置かれた地頭が警察権を行使した 2. 国ごとに置かれた守護が軍事・警察を担い、荘園や公領ごとに置かれた地頭が年貢の徴収や土地管理を担った 3. 国ごとに置かれた守護が検地を行い、荘園ごとに置かれた地頭が武士の教育を担った 4. 荘園や公領ごとに置かれた守護が土地管理を担い、国ごとに置かれた地頭が軍事・警察を担った
- 問8 1232年に制定された法典の条文において、諸国の「守護」が担当すべき職務として限定された内容の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 国分寺の建立と、仏教を通じた地方の治安維持 2. キリスト教の布教禁止の徹底と、外国船の打ち払い 3. 国内の農民からの年貢徴収と、耕作地の管理・開発 4. 御家人への京都警備（京都大番役）の催促と、謀反人や殺害人の取り締まり
- 問9 鎌倉時代中期、当時の巨大帝国であった元が日本に服従を求めてきた際、その要求を拒絶し、幕府の最高責任者である執権として大規模な防衛体制を敷いた人物は誰ですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 北条時宗 2. 足利尊氏 3. 源頼朝 4. 北条時政
- 問10 鎌倉時代に中国から伝えられた仏教の一派で、座禅によって自らの力で悟りを開こうとする教えを何といいますか。この宗派は、修行による精神修養を重んじる性質から武士に好まれ、幕府の厚い保護を受けて中世の武家文化に大きな影響を与えました。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 浄土真宗 2. 浄土宗 3. 法華宗 4. 禅宗
- 問11 源頼朝が鎌倉幕府を確立していく過程で、全国の土地支配を強めるために実施した政策の背景について述べた文章のうち、正しいものはどれですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. 検非違使や押領使といった朝廷古来の役職を幕府の統制下に置くことで、全国の武士を直接支配する仕組みを整えた。 2. 源義経との対立をきっかけに、朝廷から守護・地頭の設置を認めさせることで、各地の荘園や公領への影響力を確保した。 3. 蒙古襲来に備えるため、恩賞として与える土地を確保する目的で、全国の荘園に地頭を配置し直した。 4. 承久の乱で後鳥羽上皇を破ったのち、西日本の貴族の領地を没収するために守護・地頭の制度を初めて導入した。
- 問12 鎌倉幕府が源頼朝の時代に全国に設置した役職のうち、国ごとに置かれ、主に軍事や警察の役割を担った役職を何というか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
1. 地頭 2. 執権 3. 守護 4. 検非違使
- 問13 13世紀、モンゴル帝国の第5代皇帝であるフビライ・ハンが国号を「元」と定め、日本に対して服属を要求してきました。この要求を拒否し、二度にわたる大規模な侵攻（元寇）において日本側の防衛を指揮した、鎌倉幕府の第8代執権は誰ですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. 北条政子 2. 足利尊氏 3. 北条時宗 4. 北条泰時
- 問14 13世紀後半、鎌倉幕府が「永仁の徳政令」を出した主な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 海外との貿易を独占し、大量に流入した宋銭の流通を制限することで、物価の安定と幕府の財政再建を図るため。 2. 戦国大名の勢力が拡大する中で、幕府の権威を回復するために、有力な武士たちに忠誠を誓わせる新たな行動規範を定めるため。 3. 二度にわたる元軍の侵攻を防いだものの、十分な恩賞を与えられず、貨幣経済の浸透により生活が困窮した御家人を救済するため。 4. 全国的な飢饉による農民の反乱を防ぐため、年貢の減免を約束し、公家や寺社の所有する土地を強制的に再分配するため。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 金剛力士像	鎌倉文化を代表するこの仏像は、運慶や快慶らが寄木造の手法を用いて制作しました。平安時代の優美な仏像とは異なり、武士の気風を反映した力強い写実的な表現が特徴です。阿弥陀如来像は平等院鳳凰堂（国風文化）、釈迦三尊像は法隆寺金堂（飛鳥文化）にある仏像です。
問2	答え 1 北条時宗	北条時宗は鎌倉幕府の第8代執権であり、元のフビライ・ハンからの執拗な服属要求を拒否し、1274年の文永の役と1281年の弘安の役において、九州の御家人らを中心とした防衛体制を指揮しました。選択肢にある北条泰時は「御成敗式目」を制定した第3代執権、北条高時は鎌倉幕府滅亡時の執権、足利尊氏は後に室町幕府を開いた人物です。
問3	答え 1 フビライ=ハン	モンゴル帝国を拡大させ、国号を中国風の「元」と定めたのは第5代皇帝のフビライ=ハンです。彼は都を大都（現在の北京）に移し、高麗を服属させた後、日本に対しても朝貢（貢物を持って挨拶に来ること）を求めました。北条時宗は当時の日本の執権、足利尊氏はのちの室町幕府の創始者です。
問4	答え 4 源頼朝	源頼朝は、壇ノ浦の戦いで平氏を破った後、1192年に征夷大將軍に任命されました。彼は鎌倉を本拠地とし、武士が主役となる政治体制（鎌倉幕府）を確立しました。選択肢にある平清盛は平安時代末期に武士として初めて太政大臣になった人物であり、足利尊氏は室町幕府、徳川家康は江戸幕府を開いた人物です。
問5	答え 1 御成敗式目（貞永式目）	鎌倉時代、承久の乱の後に武士同士の領地争いが増加したことを受け、裁判を公平に行うための基準が必要となりました。北条泰時は、それまでの貴族の法律（律令）ではなく、武家社会で培われてきた慣習を整理してこの法を制定しました。
問6	答え 4 臨済宗	栄西が宋から伝えたのは臨済宗です。鎌倉時代には日宋貿易を通じて新しい仏教が日本に流入しましたが、臨済宗は特に幕府との結びつきを強め、後の五山文化の発展にも寄与しました。浄土宗は法然、浄土真宗は親鸞、時宗は一遍が開いた宗派であり、これらは念仏を唱えることで救われるとする教えで、禅宗とは特徴が異なります。
問7	答え 2 国ごとに置かれた守護が軍事・警察を担い、 荘園や公領ごとに置かれた地頭が年貢の徴収 や土地管理を担った	源頼朝は、対立した弟の源義経を捕らえるという名目で、朝廷から守護・地頭を設置する権利（権限）を認めさせました。守護は旧来の行政区分である「国」ごとに原則1人置かれ、軍事や警察の役割を果たしました。一方、地頭は個別の「荘園」や「公領」ごとに置かれ、現地の管理や税（年貢）の徴収を実務的に担当しました。これにより、幕府の支配力が地方まで及ぶようになりました。
問8	答え 4 御家人への京都警備（京都大番役）の催促と、 謀反人や殺害人の取り締まり	鎌倉幕府は守護の権限が拡大して荘園領主と対立することを防ぐため、守護の職務を「大犯三箇条（だいほんさんかじょう）」などに限定しました。具体的には、京都を警備する御家人に動員をかけることや、謀反人・殺人犯などの重大犯罪者の逮捕が主な役割とされました。
問9	答え 1 北条時宗	鎌倉幕府の第8代執権である北条時宗は、モンゴル帝国（元）のフビライ・ハンからの通告を断固として拒否しました。日本史上最大の危機の一つとされる元寇に対し、九州の警備を強化する「異国堅固番役」を設置するなど、武士を統率して防衛を指揮しました。
問10	答え 4 禅宗	鎌倉時代に栄えた新しい仏教のうち、座禅を通じて自己を見つめ直し、自力で悟りに達しようとする教えが禅宗です。この「自力」による厳しい修行のあり方が、実力を重んじ精神的な強さを求める武士の気風に合致しました。鎌倉幕府だけでなく室町幕府も禅宗を厚く保護し、寺院の序列を定めるなどして政治・文化の両面で深く結びつきました。
問11	答え 2 源義経との対立をきっかけに、朝廷から守護・ 地頭の設置を認めさせることで、各地の荘園 や公領への影響力を確保した。	鎌倉幕府が全国的な支配権を確立する大きな転換点は、1185年の守護・地頭の設置にあります。これは源義経を捕縛するという名目で朝廷に認めさせたものであり、それまで貴族や寺社が所有していた「荘園」や、国司が管理していた「公領」に対して、幕府が任命した武士（御家人）が地頭として入り込むことを可能にしました。検非違使や押領使は平安時代からの官職であり、これとは区別する必要があります。
問12	答え 3 守護	源頼朝が1185年に朝廷に認めさせて設置した役職です。各国の武士を統率して、京都の御所の警護（京都大番役の催促）や、謀反人・殺人犯の逮捕といった軍事・警察的な任務にあたりました。これに対し、荘園や公領ごとに置かれて土地の管理や年貢の徴収を行ったのは地頭です。
問13	答え 3 北条時宗	チンギス・ハンの孫であるフビライ・ハンは、高麗を服属させた後、日本に対しても朝貢を求めました。当時、鎌倉幕府の執権であった北条時宗はこの要求を拒絶し、元軍の襲来に備えて九州沿岸の警備を強化しました。1274年の文永の役、1281年の弘安の役という二度の侵攻を退けましたが、この戦いはその後の幕府の衰退に大きな影響を与えることとなりました。
問14	答え 3 二度にわたる元軍の侵攻を防いだものの、十 分な恩賞を与えられず、貨幣経済の浸透によ り生活が困窮した御家人を救済するため。	鎌倉時代後半、元寇（モンゴル襲来）での防衛戦は恩賞となる獲得領地がなかったため、御家人は出兵費用の負担で困窮しました。さらに貨幣経済の広がりにより、領地を質に入れたり売却したりする者が増えたため、幕府は御家人の救済を目的として徳政令を発布しました。選択肢にある「武家諸法度」などは江戸時代の制度であり、背景が異なります。